

2017/11/16

柏の景気情報（平成29年11月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成29年11月分）

○ 調査期間 : 平成29年11月27日 ~ 平成29年12月5日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	72	46.2%
建設	44	21	47.7%
製造	33	15	45.5%
卸・小売	43	20	46.5%
サービス	36	16	44.4%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成29年11月の調査結果のポイント】

《業況DIは全国と比べて全ての業種で悪化。先行きも不透明感が残り悪化の見通し》

○11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.6(前月水準▲19.7)となり、マイナス幅が3.9ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲50.0(同▲60.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲12.5(同±0.0)、建設業▲19.0(同▲10.0)、製造業▲6.6(同±0.0)である。

【建設業】からは、「柏駅前そごうの空きビル状態が続いているのだから、駅から徒歩30分の地方エリアの空家・空店舗が増えていることは仕方がないと思うが、地方創生を望む」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「医療向け建材の受注が停滞気味。年末から来年に向けた見通しが不透明」(特殊産業用機械)、「売上は前年同期との比較で20%減少。要因としては消費・事業の縮小が年々増加してきていることに寄るのであろうか」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「メーカーは在庫調整している感が強い。したがってお買得(バーゲン)商品が出ずらくなっている。業況は全く良い話は聞かない」(婦人・子供服小売業)、「全体的に気温低下で週末も雨が多く、客足が鈍くなった傾向。23日～26日「ブラックフライデー」で仕掛けたこともあり月末は売上上昇。気温低下で婦人衣料、肌着衣料は前年をクリア出来たが、紳士衣料は不振となった。ボージョレーヌーボ解禁も年々関心が低下しており前年対比で80%程となった。お歳暮ギフトは順調に推移している」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「年末の予約(忘年会等)が昨年より減少している。平日の予約など今後に期待する」(酒場・ビヤホール)、「私事ですが、厚生労働大臣賞(功労賞)を頂いた」(食堂・レストラン)、「(法人)新年度案件の引き合いが活発になってきた。旅行先として Guam を敬遠する動きがまだまだある。(個人)GWの予約が活発になってきた。日本各地の名旅館、ホテルの「おせち料理」に引き合いが増えている」(旅行業)、「お客様からの引き合いは多いが、購入までの期間は時間がかかっており慎重。高齢者の相続による相談が増えてきている。長期間空家にしている不動産の有効活用売却相談も少しづつですが増加している」(不動産管理業)、「そごうを見てあきらかのように、大型商業施設所有者は周辺商業者への影響を考えなければならないと思う」(不動産賃貸業)、「前月比変わらず。世の中好転の兆しがあるも設備投資には慎重。政府の掛け声があると仕方なく投資する傾向あり」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「募集中なれど応募なし。昨年は1名採用」(内装工事業)、「工場現場作業員の経験者採用が不調」(一般産業用機械・装置製造業)、「人手不足は死活問題であり、ましてや来年施工される残業45時間規制によってますます悪化する見込み」(ソフトウェア業)との声が寄せられた。

◎原材料高騰

各業種より、「原料も高騰状態で推移」(特殊産業用機械)、「材料の値上げに苦慮している」(紙製容器製造業)、「年末が近づくとこれ各材料の値上げが相次ぐ。クリスマス時期が今から心配」(菓子・パン小売業)との声が寄せられた。

◎売上減少

各業種より、「売上は前年同期との比較で20%減少」(印刷業)、「医療向け建材の受注が停滞気味」(特殊産業用機械)、「業況は全く良い話は聞かない」(婦人・子供服小売業)、「年末の予約(忘年会等)が昨年より減少している」(酒場・ビヤホール)との声が寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
6月	▲16.9	▲18.7	△5.8	▲38.0	▲11.7
7月	▲11.4	▲10.5	△5.8	▲28.5	▲7.6
8月	▲22.8	▲22.2	▲6.2	▲42.8	▲13.3
9月	▲10.0	▲15.0	△15.3	▲45.4	△26.6
10月	▲19.7	▲10.0	±0.0	▲60.0	±0.0
11月	▲23.6	▲19.0	▲6.6	▲50.0	▲12.5
見通し	▲18.0	▲4.7	±0.0	▲55.0	▲6.2

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成29年11月の業況についての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.6(前月水準▲19.7)となり、マイナス幅が3.9ポイント拡大した。

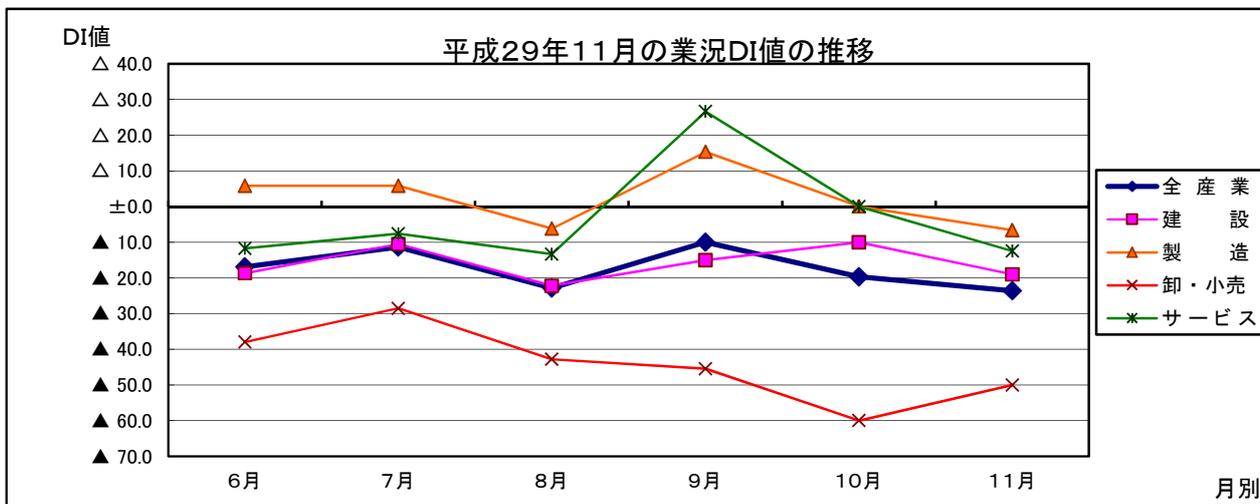
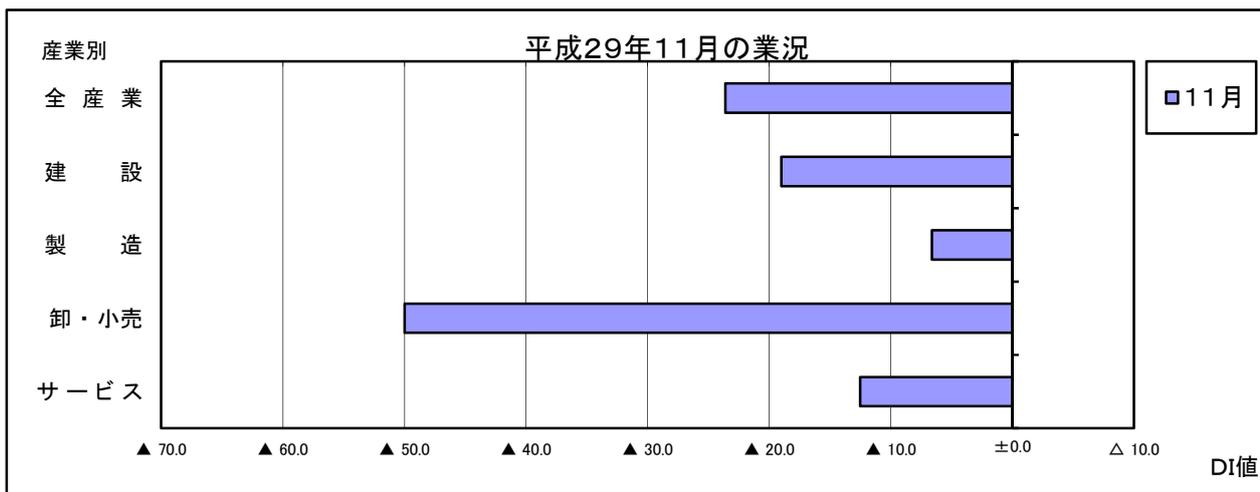
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲50.0(同▲60.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲12.5(同±0.0)、建設業▲19.0(同▲10.0)、製造業▲6.6(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.0(前月水準▲12.6)となり、マイナス幅が5.4ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲55.0(同▲60.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業±0.0(同△6.2)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲6.2(同△6.6)、建設業▲4.7(同△5.0)である。

平成29年11月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	▲16.9	▲11.4	▲22.8	▲10.0	▲19.7	▲23.6	▲18.0(▲12.6)
建設	▲18.7	▲10.5	▲22.2	▲15.0	▲10.0	▲19.0	▲4.7(△5.0)
製造	△5.8	△5.8	▲6.2	△15.3	±0.0	▲6.6	±0.0(△6.2)
卸・小売	▲38.0	▲28.5	▲42.8	▲45.4	▲60.0	▲50.0	▲55.0(▲60.0)
サービス	▲11.7	▲7.6	▲13.3	△26.6	±0.0	▲12.5	▲6.2(△6.6)



【平成29年11月の売上についての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.4(前月水準▲9.8)となり、マイナス幅が9.6ポイント拡大した。

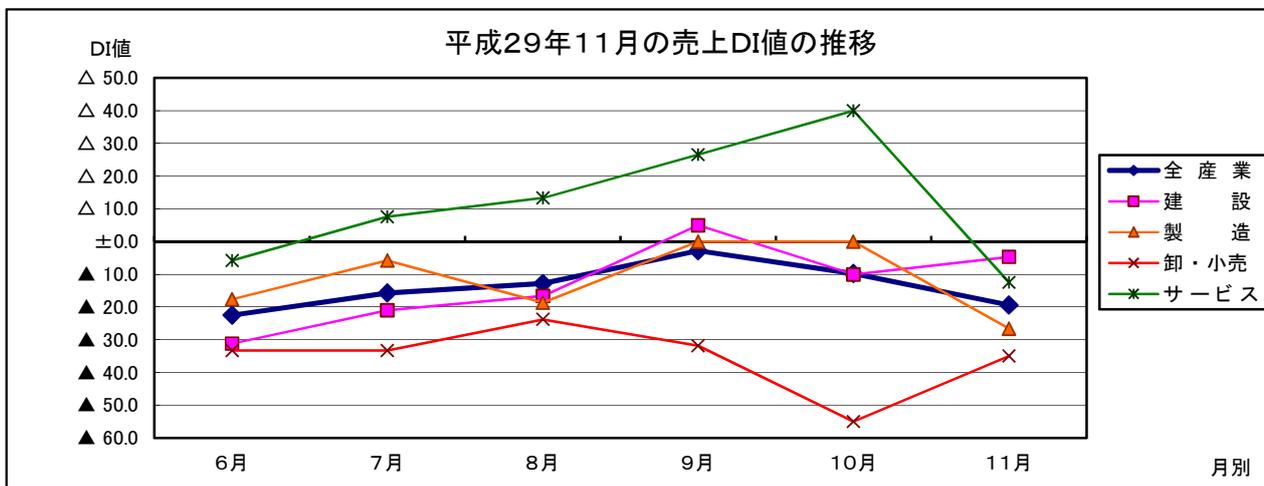
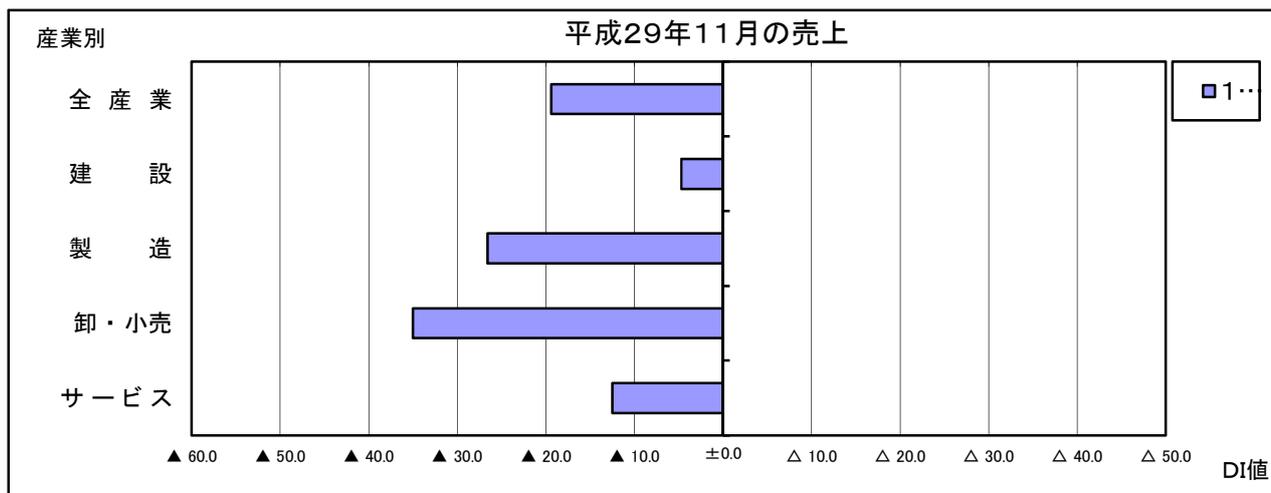
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲35.0(同▲55.0)、建設業▲4.7(同▲10.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲12.5(同△40.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲26.6(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.0(前月水準±0.0)となり、マイナス幅は18.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、建設業△9.5(同±0.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲18.7(同△33.3)、製造業▲26.6(同△12.5)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲40.0(同▲35.0)である。

平成29年11月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	▲22.5	▲15.7	▲12.8	▲2.8	▲9.8	▲19.4	▲18.0(±0.0)
建設	▲31.2	▲21.0	▲16.6	△5.0	▲10.0	▲4.7	△9.5(±0.0)
製造	▲17.6	▲5.8	▲18.7	±0.0	±0.0	▲26.6	▲26.6(△12.5)
卸・小売	▲33.3	▲33.3	▲23.8	▲31.8	▲55.0	▲35.0	▲40.0(▲35.0)
サービス	▲5.8	△7.6	△13.3	△26.6	△40.0	▲12.5	▲18.7(△33.3)



【平成29年11月の採算についての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲25.0(前月水準▲26.7)となり、マイナス幅は1.7ポイント縮小した。

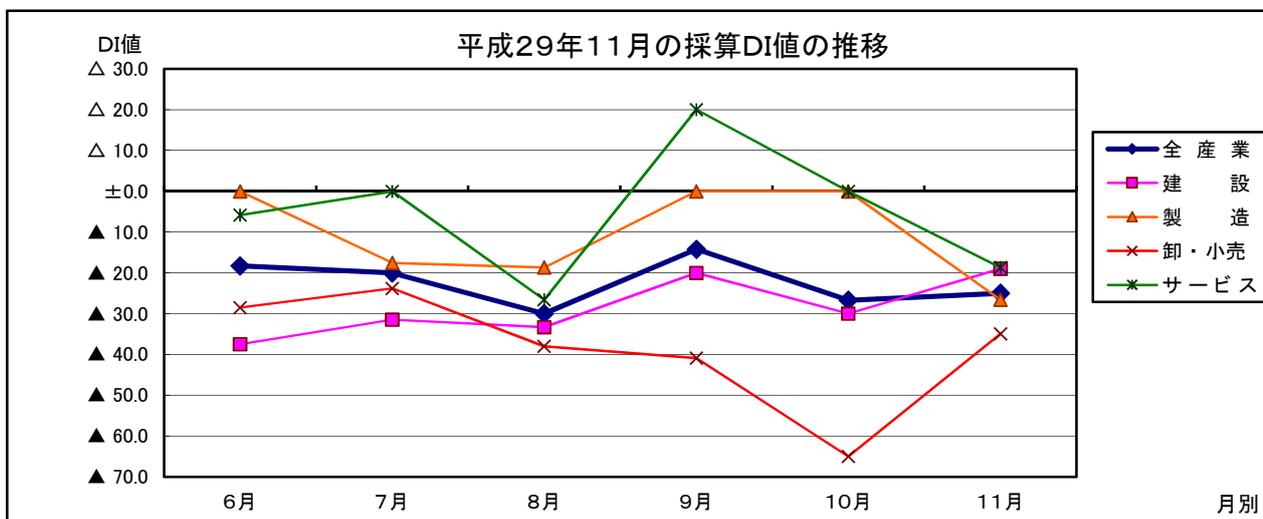
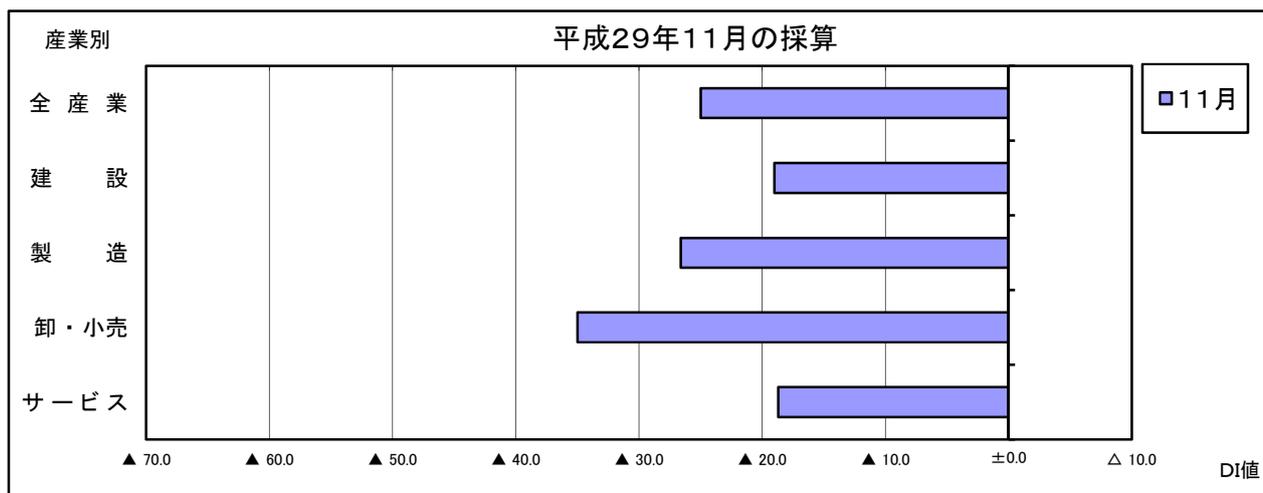
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲35.0(同▲65.0)、建設業▲19.0(同▲30.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲26.6(同±0.0)、サービス業▲18.7(同±0.0)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲18.0(前月水準▲14.0)であり、マイナス幅が4.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲4.7(同▲20.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲13.3(同△6.2)、サービス業▲6.2(同△6.6)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲45.0(同▲40.0)である。

平成29年11月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	▲18.3	▲20.0	▲30.0	▲14.2	▲26.7	▲25.0	▲18.0(▲14.0)
建設	▲37.5	▲31.5	▲33.3	▲20.0	▲30.0	▲19.0	▲4.7(▲20.0)
製造	±0.0	▲17.6	▲18.7	±0.0	±0.0	▲26.6	▲13.3(△6.2)
卸・小売	▲28.5	▲23.8	▲38.0	▲40.9	▲65.0	▲35.0	▲45.0(▲40.0)
サービス	▲5.8	±0.0	▲26.6	△20.0	±0.0	▲18.7	▲6.2(△6.6)



【平成29年11月の仕入単価についての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲30.5(前月水準▲36.6)となり、マイナス幅が6.1ポイント縮小した。

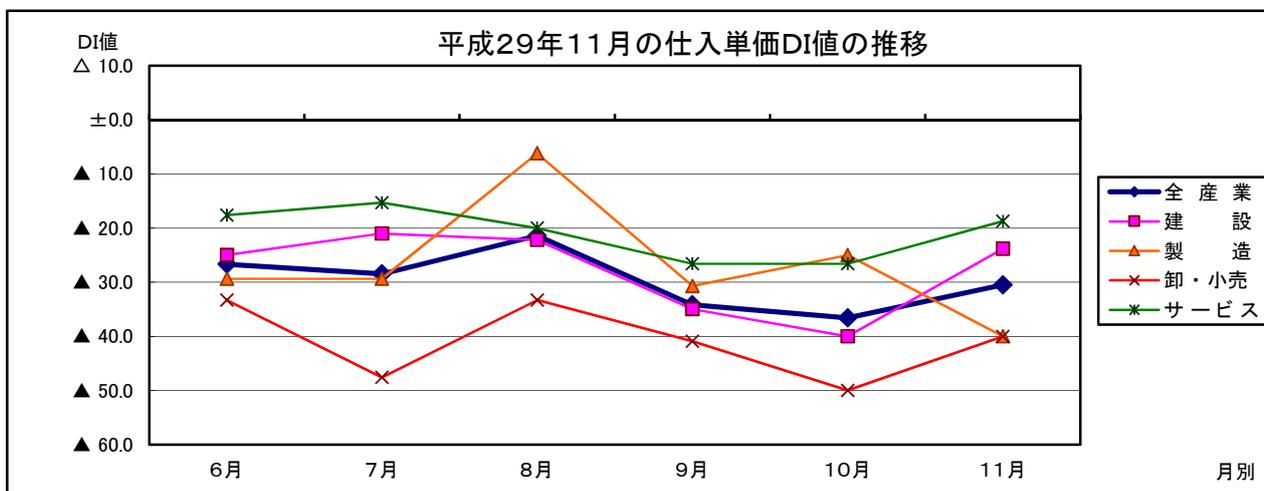
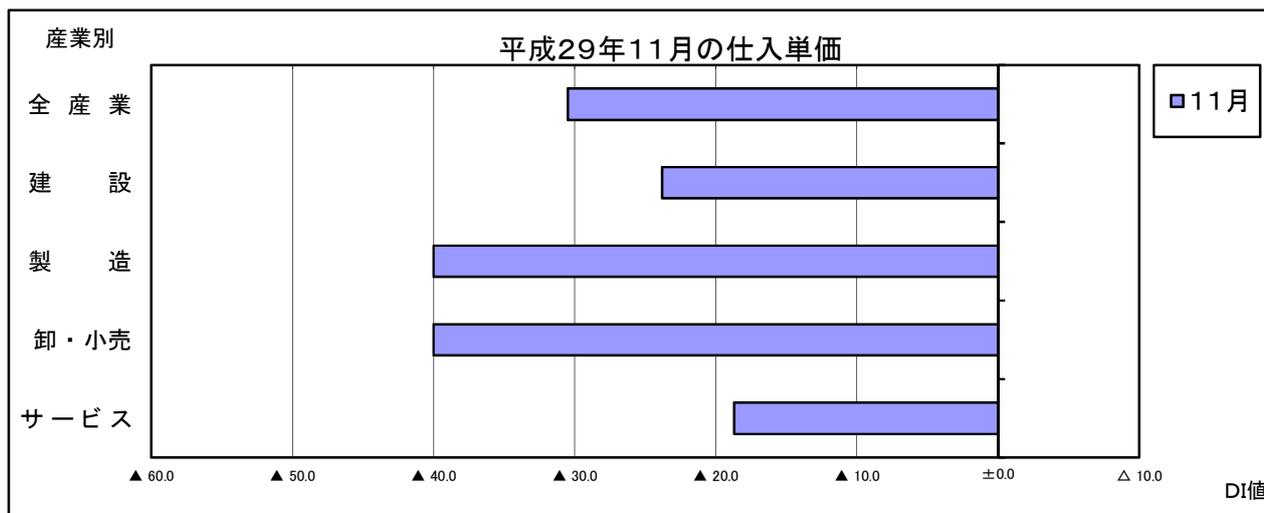
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲23.8(同▲40.0)、卸小売業▲40.0(同▲50.0)、サービス業▲18.7(同▲26.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲40.0(同▲25.0)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲25.0(前月水準▲30.9)となり、マイナス幅が5.9ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲30.0(同▲50.0)、サービス業▲12.5(同▲20.0)、建設業▲23.8(同▲25.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、製造業▲33.3(同▲25.0)である。

平成29年11月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	▲26.7	▲28.5	▲21.4	▲34.2	▲36.6	▲30.5	▲25.0(▲30.9)
建設	▲25.0	▲21.0	▲22.2	▲35.0	▲40.0	▲23.8	▲23.8(▲25.0)
製造	▲29.4	▲29.4	▲6.2	▲30.7	▲25.0	▲40.0	▲33.3(▲25.0)
卸・小売	▲33.3	▲47.6	▲33.3	▲40.9	▲50.0	▲40.0	▲30.0(▲50.0)
サービス	▲17.6	▲15.3	▲20.0	▲26.6	▲26.6	▲18.7	▲12.5(▲20.0)



【平成29年11月の従業員についての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△16.6(前月水準△22.5)となり、プラス幅が5.9ポイント縮小した。

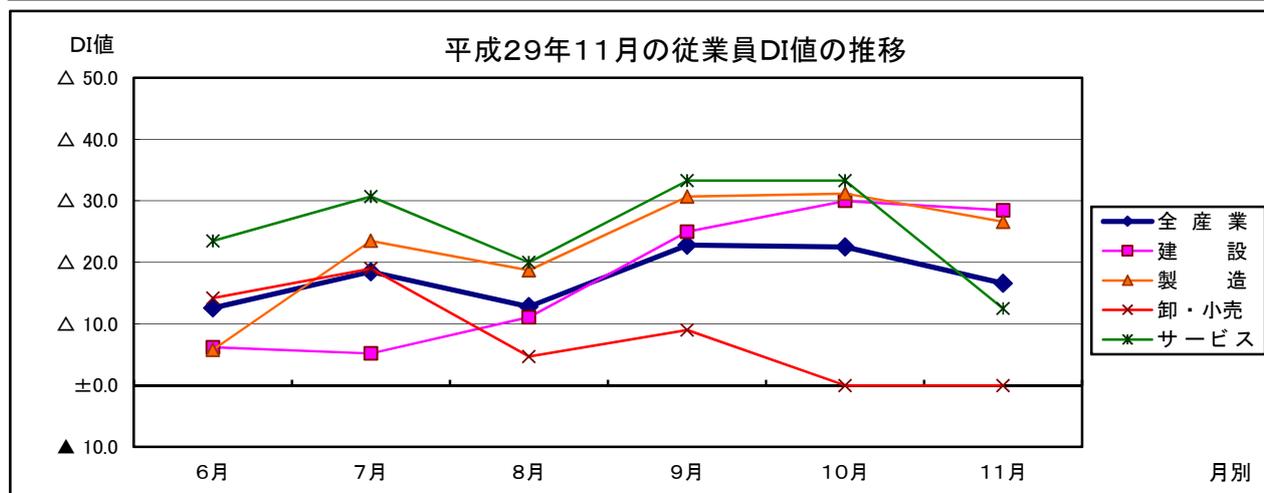
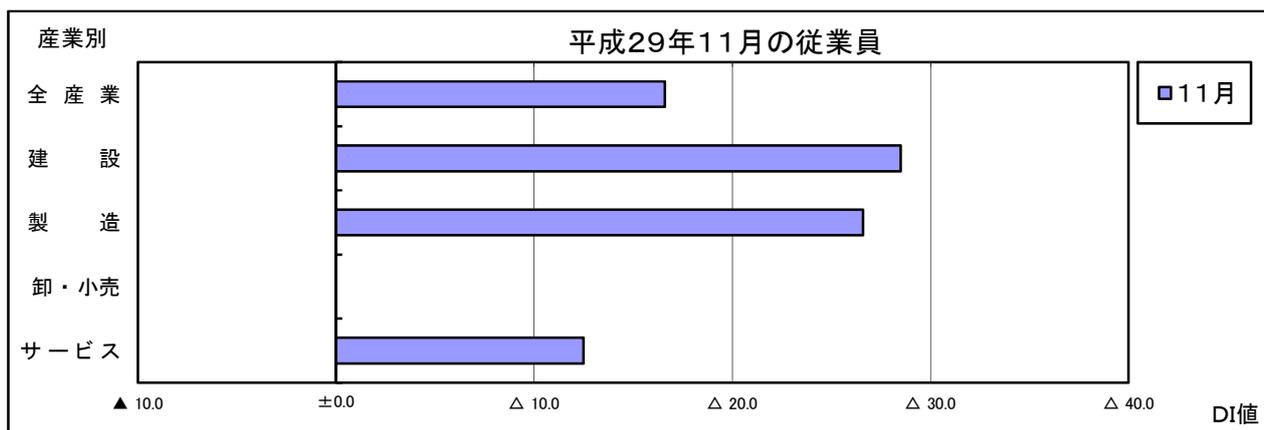
業種別では、前月水準と比べて、変らない業種は、卸小売業±0.0(同±0.0)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業△12.5(同△33.3)、製造業△26.6(同△31.2)、建設業△28.5(同△30.0)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、△20.8(前月水準△25.3)であり、プラス幅が4.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業△5.0(同±0.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△12.5(同△33.3)、製造業△33.3(同△37.5)、建設業△33.3(同△35.0)である。

平成29年11月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	△12.6	△18.5	△12.8	△22.8	△22.5	△16.6	△20.8(△25.3)
建設	△6.2	△5.2	△11.1	△25.0	△30.0	△28.5	△33.3(△35.0)
製造	△5.8	△23.5	△18.7	△30.7	△31.2	△26.6	△33.3(△37.5)
卸・小売	△14.2	△19.0	△4.7	△9.0	±0.0	±0.0	△5.0(±0.0)
サービス	△23.5	△30.7	△20.0	△33.3	△33.3	△12.5	△12.5(△33.3)



【平成29年11月の資金繰りについての状況】

○ 11月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲12.5(前月水準▲9.8)となり、マイナス幅が2.7ポイント拡大した。

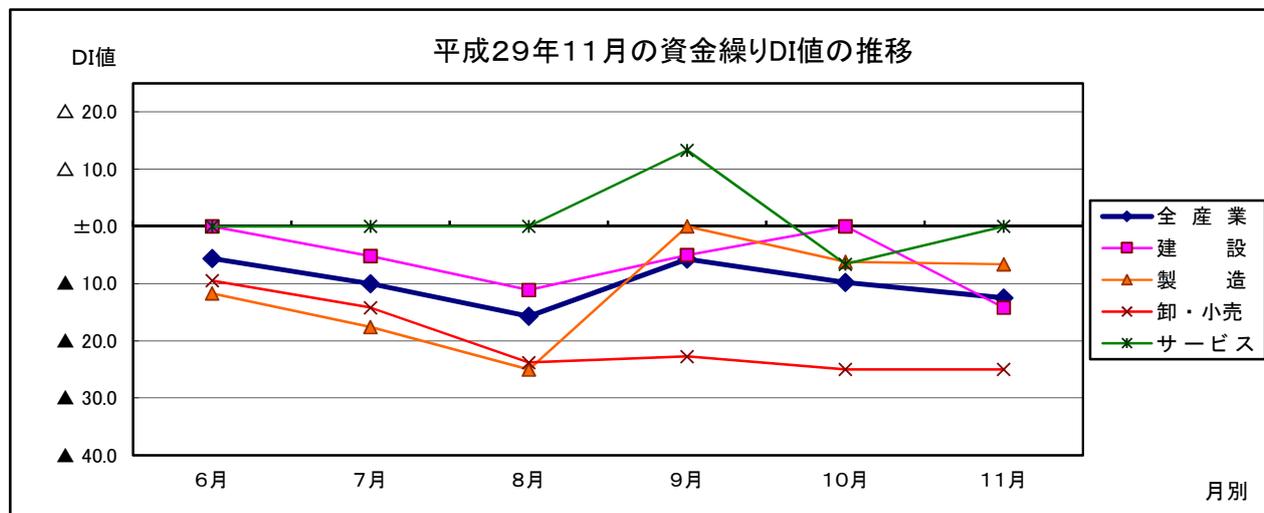
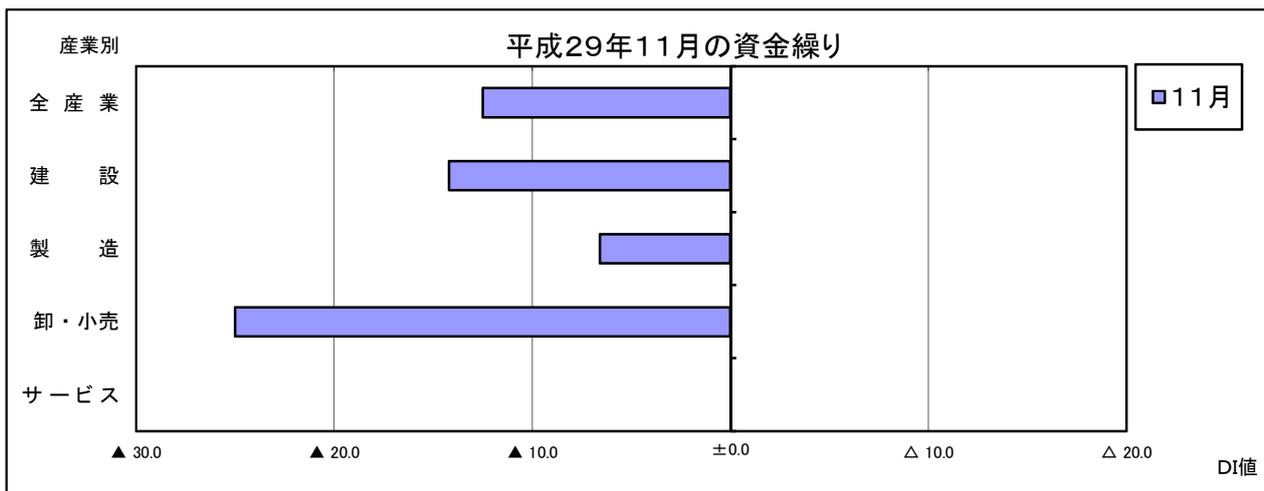
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同▲6.6)である。変らない業種は、卸小売業▲25.0(同▲25.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲14.2(同±0.0)、製造業▲6.6(同▲6.2)である。

○ 向こう3ヶ月(12月から2月)の先行き見通しについては、全産業では、▲2.7(前月水準▲1.4)となり、マイナス幅が1.3ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△13.3(同±0.0)である。変らない見通しの業種は、卸小売業▲25.0(同▲25.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業△4.7(同△15.0)、サービス業±0.0(同△6.6)である。

平成29年11月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12月~2月(11月~1月)
全産業	▲5.6	▲10.0	▲15.7	▲5.7	▲9.8	▲12.5	▲2.7(▲1.4)
建設	±0.0	▲5.2	▲11.1	▲5.0	±0.0	▲14.2	△4.7(△15.0)
製造	▲11.7	▲17.6	▲25.0	±0.0	▲6.2	▲6.6	△13.3(±0.0)
卸・小売	▲9.5	▲14.2	▲23.8	▲22.7	▲25.0	▲25.0	▲25.0(▲25.0)
サービス	±0.0	±0.0	±0.0	△13.3	▲6.6	±0.0	±0.0(△6.6)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 19.4	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 18.0	▲ 30.5	▲ 25.0	△ 16.6	△ 20.8
建設	▲ 4.7	△ 9.5	▲ 19.0	▲ 4.7	▲ 23.8	▲ 23.8	△ 28.5	△ 33.3
製造	▲ 26.6	▲ 26.6	▲ 26.6	▲ 13.3	▲ 40.0	▲ 33.3	△ 26.6	△ 33.3
卸・小売	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 45.0	▲ 40.0	▲ 30.0	±0.0	△ 5.0
サービス	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 18.7	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 12.5	△ 12.5	△ 12.5

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 23.6	▲ 18.0	▲ 12.5	▲ 2.7
建設	▲ 19.0	▲ 4.7	▲ 14.2	△ 4.7
製造	▲ 6.6	±0.0	▲ 6.6	△ 13.3
卸・小売	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 25.0	▲ 25.0
サービス	▲ 12.5	▲ 6.2	±0.0	±0.0

【平成29年11月業種別業界内トピックス】

業種別	概況	トピックス	業種
建設	柏駅前のごうの空きビル状態が続いているのだから、駅から徒歩30分の柏の地方エリアの空家店舗が増えていることは仕方がないとは思いますが、地方創生を望みます。 募集中なれど応募なし。昨年1名採用。	郊外空店舗増加	内装工事業
		人手不足	その他の職別工事業
製造業	医療向け建材の受注が停滞気味。年末から来年に向けた見通しが不透明。原料も高騰状態で推移している。	受注停滞 先行き不透明 材料高騰	特殊産業用機械
	材料の値上げに苦慮している。	材料値上げ	紙製容器製造業
	売上前年同期との比較では、マイナス20%減少。要因としては消費・事業の縮小が年々増加してきていることに寄るのであろうか。	売上減少	印刷業
	工場現場作業員の経験者採用が不調。	人手不足	一般産業用機械・装置製造業
卸小売	メーカー的には在庫調整している感が強い。したがってお買得(バーゲン)商品が出ずらくなっている。業況は全く良い話は聞かない。	業況悪化	婦人・子供服小売業
	全体的に気温低下ではあったが週末向け雨が早く客足が鈍くなった傾向。23日～26日「ブラックフライデー」で仕掛けたこともあり月末は売上上昇。気温低下で婦人衣料、肌着衣料は前年をクリア出来たが、紳士衣料は不振となった。ポージョレーヌーボ解禁も年々関心が低下しており前年対比で80%程となった。お歳暮ギフトは昨年に順調に推移している。	天候不順 売上上昇 ポージョレーヌーボ お歳暮	その他の各種商品小売業
	年末が近づくと各材料の値上げが相次ぐ。クリスマス時期が今から心配。	材料値上げ クリスマス商戦	菓子・パン小売業
サービス業	年末の予約(忘年会等)が昨年より減少しております。平日の予約、今後に期待する。	売上減少	酒場・ビヤホール
	私事では御座いますが、平成29年10月26日に厚生労働大臣賞(功労賞)を頂きました。	表彰	食堂・レストラン
	法人:新年度案件の引き合いが活発になってきた。旅行先としてグアムを敬遠する動きがまだまだある。個人:GWの予約が活発になってきた。日本各地の名旅館、ホテルの「おせち料理」に引き合いが増えている。	新年度好調 おせち好調	旅行業
	相変わらずお客様からの引き合いは多いですが、購入までの期間は時間がかかっており慎重です。高齢者の相続による相談が増えてきています。長期間空家にしている不動産の有効活用売却相談も少しずつですが増加しています。	不動産購入慎重 高齢者の相談増加	不動産管理業
	そごうを見てあきらかのように、大型商業施設所有者は周辺事業者への影響を考えなければならないと思います。	そごう	不動産賃貸業
	前月比、変わらず。世の中好転の兆しあるも設備投資には慎重です。政府の掛け声があると仕方なく投資する傾向あり。また人手不足は死活問題であり、ましてや来年施工される残業45時間規制によってますます悪化する見込みです。	好転の兆し 設備投資慎重 人手不足 残業規制	ソフトウェア業

平成29年11月CCI-LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.6に対し、「CCI-LOBO」が▲14.9で柏の方がマイナス幅が8.7ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種はなく、卸小売業では10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲19.4に対し、「CCI-LOBO」が▲9.5で柏の方がマイナス幅が9.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業・サービス業・卸小売業であり、製造業では10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲25.0に対し、「CCI-LOBO」が▲15.1で柏の方がマイナス幅が9.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種はない。「柏の景気」の方が悪い業種は、すべてであり、製造業・卸小売業では、10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲30.5に対し、「CCI-LOBO」が▲37.5で柏の方がマイナス幅が7.0ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業であり、建設業・サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業であり10ポイント以上悪い。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△16.6に対し、「CCI-LOBO」が△26.4で柏の方がプラス幅が9.8ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業であり10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業・サービス業であり、卸小売業・サービス業では、10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲12.5に対し、「CCI-LOBO」が▲8.8で柏の方がマイナス幅が3.7ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・卸小売業である。

CC I - L O B O

商工会議所早期景気観測(11月速報)

調査期間：平成29年11月14日～20日

調査対象：全国の422商工会議所が3865企業
にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、改善、先行きは持ち直しへの期待感みられるも、ほぼ横ばい

十一月の全産業合計の業況DIは、▲14.9と、前月から+1.1ポイントの改善。電子部品、自動車、産業用機械関連を中心に製造業が全体を牽引したほか、インバウンドを含む観光需要の拡大や、消費の持ち直しを指摘する声が聞かれた。他方、人手不足の影響拡大や、仕入価格、運送費の上昇、消費者の節約志向が引き続き中小企業のマインドに影響を及ぼしており、業況改善に向けた動きは力強さを欠いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲15.4（今月比▲0.5ポイント）とほぼ横ばいを見込む。輸出や設備投資の堅調な推移、個人消費の持ち直し、インバウンドを含めた観光需要拡大、経済対策・補正予算などへの期待感かうかがえる。他方、深刻な人手不足の影響拡大や、原材料費・運送費の上昇などを懸念する声もあり、中小企業の業況感にはほぼ横ばいで推移する見通し。

○各業種から寄せられた特

徹的なコメントは以下のとおり。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、卸売業で悪化、その他の4業種で改善した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「ホテル建設などの民間工事が堅調なため、売上は改善しているが、合板や鋼材を始めとする建材価格上昇の価格転嫁には苦戦している」（建築工事業、「人手不足で受注制限せざるを得ず、売上は伸び悩んだ。下請事業者の人手不足の影響から、下請先の確保にも難航している」（一般工事業）

【製造業】「アジア、EUを始めとした旺盛な海外需要に加え、国内でも新車などの引き合いが強く、売上は改善した」（自動車部品製造業、「原材料価格や燃料費、運送費の上昇が見られるものの、販売先の設備投資意欲が引き続き好調なため、売上・採算ともに改善した」（産業用機械製造業）、「不漁の影響から原材料価格が高騰しており、採算は悪化した。だが、来年からの価格転嫁については、多くの取引先の合意が取れた

ため、今後採算は改善する見通し」（水産食料品製造業）

【卸売業】「生産性向上を目的とした設備投資案件が増加し、売上は改善したが、運送費や仕入価格、人件費などの上昇により、収益は圧迫されている」（産業用機械卸売業）、「建設業からの引き合いは多いが、米ハリケーン被害に伴う復興需要やカナダの山火事の影響から、米国産木材の価格が急激に上昇したため、価格転嫁が間に合わず採算悪化となった」（建設資材卸売業）

【小売業】「インバウンド需要が継続していることに加え、株高を背景に富裕層消費も伸び、高額品の売上が改善した。急激な気温低下から冬物衣料にも動きが見られる」（百貨店）、「天候が落ち着き、来店客数は例年並みになってきたものの、低価格志向が根強く、売上改善にはつながらなかった。様々なイベントを企画し、消費者の嗜好をつかむことで、年末商戦では売上拡大を図る」（化粧品小売業）

【サービス業】「イベントの開催等により、インバウンドを含む宿泊客数が増加し、売上は改善。年末年始に向け観光客数が増加するため、さらなる売上増が見込める」（宿泊業）、「パート・アルバイト不足のため、席数を絞って営業せざるを得ず、売上は伸び悩んだ。農水産物の仕入価格上昇により、収益も圧迫されている」（飲食業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
6月	▲14.5	▲14.3	▲8.6	▲8.6	▲32.1	▲8.8
7月	▲16.1	▲13.3	▲9.5	▲11.9	▲33.9	▲11.7
8月	▲18.2	▲14.2	▲6.9	▲17.0	▲36.3	▲17.2
9月	▲15.3	▲7.4	▲10.1	▲19.2	▲31.4	▲10.8
10月	▲16.0	▲11.4	▲9.3	▲13.1	▲34.6	▲12.8
11月	▲14.9	▲10.0	▲4.2	▲24.3	▲31.7	▲10.9
見通し	▲15.4	▲16.3	▲5.5	▲21.0	▲26.2	▲13.2

柏の景気情報

(11月の調査結果のポイント)

調査期間：平成29年11月27日～12月5日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に
ヒアリング、回答数72件

柏の景気情報・産業別業況DI

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
6月	▲16.9	▲18.7	△5.8	▲38.0	▲11.7
7月	▲11.4	▲10.5	△5.8	▲28.5	▲7.6
8月	▲22.8	▲22.2	▲6.2	▲42.8	▲13.3
9月	▲10.0	▲15.0	△15.3	▲45.4	△26.6
10月	▲19.7	▲10.0	±0.0	▲60.0	±0.0
11月	▲23.6	▲19.0	▲6.6	▲50.0	▲12.5
見通し	▲18.0	▲4.7	±0.0	▲55.0	▲6.2

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

柏市の業況

業況DIはほぼ全ての業種で悪化。先行きも不透明感が残り、慎重な見方が続く。

十一月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース以下同じ)は、▲23.6(前月水準▲19.7)となりマイナス幅が3.9ポイント拡大した。業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲50.0(同▲60.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲12.5(同

±0.0)、建設業▲19.0(同▲10.0)、製造業▲6.6(同±0.0)である。

【建設業】からは、「柏駅前」からの空きビル状態が続いているのだから、駅から徒歩30分の地方エリアの空き家・空店舗が増えていることは仕方がないと思うが、地方創生を望む(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「医療向け建材の受注が停滞気味。年末から来年に向けた見通しが不透明」(特殊産業用機械)、「売上は前年同期との比較で20%減少。要因としては消費・事業の縮小が年々増加してきていることに寄るのであるか」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「メーカーは在庫調整している感が強い。したがってお買得(バーゲン)商品が出辛くなっている。業況は全く良い話は聞かない」(婦人・子供服小売業)、「全体的に気温低下で週末も雨が多く、客足が鈍くなった傾向。23日～26日「ブラックフライデー」で仕掛けたこともあり月末は売上上昇。気温低下で婦人衣料、肌着衣料は前年をクリア出来たが、紳

士衣料は不振となった。ボージョレーヌーボ解禁も年々関心が低下しており前年対比で80%程となった。お歳暮ギフトは順調に推移している」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「年末の予約(忘年会等)が昨年より減少している。平日の予約など今後に期待する」(酒場・ビヤホール)、「私事ですが、厚生労働大臣賞(功労賞)を頂いた」(食堂・レストラン)、「(法人)新年度案件の引き合いが活発になってきた。旅行先としてグアムを敬遠する動きがまだまだある。(個人)GWの予約が活発になってきた。日本各地の名旅館、ホテルの「おせち料理」に引き合いが増えている」(旅行業)、「お客様からの引き合いは多いが、購入までの期間は時間がかかっており慎重。高齢者の相続による相談が増えてきている。長期間空き家になっている不動産の有効活用売却相談も少しずつ増加している」(不動産管理業)、「そこ」を見てあきらめず、大型商業施設所有者は周辺商業者への影響を考えなければならぬと思

う(不動産賃貸業)、「前月比変わらず。世の中好転の兆しがあるも設備投資には慎重。業、」年末の予約(忘年会等)

政府の掛け声があると仕方なく投資する傾向あり(ソフトウエア業)などのコメントが寄せられた。

十一月の景気キーワード

◎人手不足
各業種より、「募集中なれど応募なし。昨年は1名採用」(内装工事業)、「工場現場作業員の経験者採用が不調」(一般産業用機械・装置製造業)、「人手不足は死活問題であり、ましてや来年施工される残業45時間規制によつてますます悪化する見込み」(ソフトウエア業)との声が寄せられた。

◎原材料高騰
各業種より、「原料も高騰状態で推移」(特殊産業用機械)、「材料の値上げに苦慮している」(紙製容器製造業)、「年末が近づくとつれ各材料の値上げが相次ぐ。クリスマス時期が今から心配」(菓子・パン小売業)との声が寄せられた。

◎売上減少
各業種より、「売上は前年同期との比較で20%減少」(印刷業)、「医療向け建材の受注が停滞気味」(特殊産業用機械)、「業況は全く良い話は聞かない」(婦人・子供服小売業)、「年末の予約(忘年会等)

が昨年より減少している」(酒場・ビヤホール)との声が寄せられた。

全国の商工会議所早期景気観測調査(CCI-LOB)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲23.6に対し、「CCI-LOB」が▲14.9で柏の方がマイナス幅が8.7ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種はなく、卸小売業では10ポイント以上悪い。